

令和5年4月

令和5年4月15日 立山黒部アルペンルート全線開通 黒部ダム竣工60周年のメモリアルイヤー



4月15日、北アルプスを貫いて長野県と富山県を結ぶ「立山黒部アルペンルート」が全線開通し、今シーズンの営業がスタートしました。全線開通を祝して扇沢駅で行われた開通式では、牛越市長をはじめ関係者が出席し、今シーズンの安全を祈願しました。

牛越市長は「新型コロナウイルス感染症の影響で昨シーズンまで厳しい3年間だったが、ようやく回復の傾向が確かなものとなってきた。本日も多くの皆さんにご来場いただき、大変うれしく思う。この時期の見どころである室堂「雪の大谷」の間近に仰ぎ見る雪の壁を存分に楽しんでいただきたい」とあいさつしました。

当日はあいにくの雨でしたが、今シーズン最初の一番バスには、昨シーズンの同便の乗客数を大きく上回る334人が乗車しました。4年ぶりに入国制限のないシーズン開始となり、海外からのツアー客の姿も見られました。

黒部ダム竣工60周年を記念した「くろよん60」のおもてなしも行われ、来場者は源流美麻太鼓の演奏や地酒・りんごジュースの振る舞いを楽しんでいました。

令和5年4月13日 市の将来を担う若人を激励 新規就職者激励会

市や商工会議所、市経営者協議会、大町職業安定協会は4月13日、市役所で「新規就職者激励会」を開催しました。この春に市内21事業所に就職した52人の新社会人が出席し、これからの社会人生活に向けて激励を受けました。

主催者を代表して牛越市長は「ご家族や事業所の皆さん、地域社会が皆さんの就職を祝福している。コロナ禍の厳しい現状に背を向けず、皆さんが持つ若い力を最大限に発揮して、失敗を恐れずに何事にも積極的に挑戦してください」とエールを送りました。

大町市役所に就職した赤羽陽介さん（26）は「社会を支える一員となり、身が引き締まる思い。変化する時代の流れの中で、アンテナを高く仕事に取り組み、地域や社会のために何ができるか考えながら、一社会人として精いっぱい頑張りたい」と新規就職者を代表して決意を述べました。

式典後には新入・新人社員研修会を開催し、ビジネスマナーやコミュニケーション、社会人としての基本的な心得などを学びました。



令和5年4月7日 新たな歴史に第一歩 大町中学校・八坂小中学校 開校

4月7日、大町中学校と八坂小中学校で開校式と初めての入学式が開かれました。

大町中学校では、中村教育長が「第一中学校と仁科台中学校を再編し、ふるさと大町に誇りと自信を持ち、自己実現に向けて学び続ける生徒の育成を目指し、新しい中学校を開校する」と開校を宣言。新校の制服に身を包んだ新入生が上級生や教職員の拍手に迎えられて入学し、1年生158人、2年生159人、3年生182人、計499人の生徒が新たな学校生活のスタートを切りました。

八坂小中学校では、中村教育長が「八坂の豊かな自然の中、子どもたちの多様性と個性を丸ごと包み込みながら、9年間を通して学び合う校舎分離型の義務教育学校を開校する」と開校を宣言。新入生8人が入学し、前期課程（1～6年生）52人、後期課程（7～9年生）15人、計67人の児童・生徒が通う、県内初の校舎分離型の義務教育学校として第一歩を踏み出しました。



令和 5 年 4 月 3 日 地域の安全を守る決意新たに 消防団長に北村泰洋さんが就任



4月3日、大町市消防団長・副団長辞令交付式が市役所で行われ、大町市消防団の新体制がスタートしました。

本年度、7分団14部に新たに再編された消防団を率いる団長には前前任副団長の北村泰洋さん（45）＝美麻・二重＝が就任し、団長を補佐する先任副団長には徳竹正芳さん（43）＝社・松崎＝が任命されました。

牛越市長は「大規模な災害の発生時や人命救助には、消防団の組織力が必要になる。市民の皆さんの安心・安全のために力を尽くしてほしい」とあいさつし、北村団長は「団長としての責任の重さを痛感している。本年度は団員報酬改定や組織再編の初年度であり、市民の皆さんの中には不安もあると思うが、コロナ禍で実施できなかった訓練などを再開して消防力を強化し、市民の皆さんの負託に応えられるよう努力する」と抱負を語りました。

この記事へのお問
い合わせ

情報交通課広聴広報係 内線 404
E-mail : kouhou@city.omachi.nagano.jp